

新春を迎えて

愛知県知事 大村 秀章



あけましておめでとうございます。

新たな年を迎え、ボーイスカウト運動に取り組んでおられる皆様に、御挨拶を申し上げます。

近年、情報化社会の進展や地域社会のつながりの希薄化など、青少年を取り巻く環境は大きく変化し、青少年が自然体験や人とのコミュニケーションの大切さを学ぶ機会は減りつつあります。

そうした中、ボーイスカウト運動は、野外活動やボランティア活動を通じ、自然と親しみ、人とふれあいながら、自らを成長さ

せるものであり、青少年が協調性やリーダーシップなどを身に付け、自立した社会人となるために大きな役割を果たしています。

ボーイスカウトの皆さんには、こうした素晴らしい運動を新たな年へと引き継ぎ、たくさんの新しい体験や発見をしていただき、社会で活躍できる人材へと成長されることを期待しております。

本県では、「あいち子ども・若者育成計画2027」を策定し、子ども・若者が自らの居場所を得て、成長・活躍できる社会の実現に向けて、様々な施策を推進しております。

指導者の皆様におかれましても、ボーイスカウトが今後も子ども・若者の大切な居場所であり続けるよう、ボーイスカウト運動の普及と発展に一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟の皆様にとって、2025年がより良い年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

高山から発信! 「スカウトの絆」

第3回ボーイスカウト東海4県連盟合同野営大会が開催され、岐阜・静岡・愛知・三重のベンチャースカウト(高校生年代スカウト)が岐阜県高山市位山交流広場に集まりました。

この大会は8月2日(金)~7日(水)にかけて5泊6日のキャンプ生活で、参加者数は579名(スカウト259名・スタッフ246名 台湾からの44名、韓国からの30名を含む)。

参加したベンチャースカウトは2~3人のチームを作り、この大会自体、またはプログラムを自分たちのプロジェクトとして準備し、参加しました。



期間中、場内プログラム(火起こし、無線、SDGsプログラム、夢を語り合う討議、その他ゲーム等)、岐阜の大自然で行われる場外プログラム(パラグライダー&バギー、アスレチック、上高地ト

レッキング)、高山の街で自分たちが計画したことを行う高山DAYに積極的に取り組むと共に、開会式や閉会式にはベンチャースカウト自ら運営に関わったり、自分たちでパフォーマンスを披露したりと主体的なスカウトの姿が見られました。また、国外(台湾・韓国)からも同年代のスカウトが参加し、国際交流も盛んに行われました。

参加スカウトは様々なプログラムやキャンプ生活を通して、絆と視野を広げ、将来のことを考える契機となり、大会最終日には入場時と異なる表情を見せていました。

今後、東海4県のベンチャースカウトがより主体的に活動をしていくことでしょう。

ご後援いただいた岐阜県・岐阜県教育委員会・静岡県・静岡県教育委員会・愛知県・三重県・三重県教育委員会のみならず、ご協力いただいた陸上自衛隊第10師団・高山市の皆様に厚く御礼を申し上げます。



新年Web賀詞交換

スカウトあいちWeb版でご覧いただけます!





あいちスカウト★フェスタ2024開催

10月6日(日)名古屋市中区のイーブルなごやをメイン会場に、東別院会館及び下茶屋公園をサテライト会場に、県内のスカウト、指導者及び保護者ら約600名が集まり、あいちスカウト★フェスタ2024が開催されました。

本大会は、これまで別々に開催していた3つの顕彰事業(図画写真コンテスト、富士スカウト発表会、フロントランナー)を同一日に開催し、あわせてスカウト向けのブースプログラムを展開し、多くの県内スカウトに顕彰プログラムに参加するスカウトをたくさんの仲間でお祝いするという目的の下、県連初事業としてスタートしました。

参加したスカウトらは、ステージで展開される顕彰プログラムに参加し、日ごろ接することの



少ない表彰式や発表会、富士スカウトの堂々とした姿を見て、将来の自分像を想像できる機会の提供となりました。

各ブースプログラムでは、ビーバー部門やカブ部門を中心に体験型のブースや野外ゲームなど全9ブースを展開し、スカウト達は体験しながら学び、また、スタンプラリーも行い、参加したスカウト達は各プログラムを存分に楽しんでいました。

また、ローバースカウトによる活動報告会やベンチャースカウト向けのセミナーもあり、参加したベンチャースカウトなどはローバースカウトへの憧れが強くなったのではないかと思います。



今後は、毎年度開催となり各地域を順番に周り開催しますので是非楽しみにしててください。



Be Prepared!! ～スカウトOBからのメッセージ～ Vol.30

愛知連盟は創立から76年目を迎え、多くのボーイスカウト経験者が社会の第一線でご活躍されています。今回は、古本伸一郎様をご紹介します。

愛知県副知事 古本 伸一郎 様

ボーイスカウトに入った理由は、街で見かけた制服に一見惚れたからだ。カーキ色の半ズボンとソックス、緑のガーター。夏のキャンプでソックスを脱がず3日ぶりのお風呂でストッキング柄の垢も懐かしい。そしてハットの凹み。使い込むと上手く凹むのに憧れた。大人になり代議士になるとは思わなかった。

東日本大震災の時、新品の防災服を着ようとした政府幹部に苦言を呈した。日頃から備えているものが良いと。公職に就き制服の説得力を感じる。欧米では、災害時の国や州のリーダーの会見時、救助にあたる軍や警察、消防関係者が制服姿で困む。実力部隊が国民に寄り添うので安心してとのメッセージだ。政治家は文民であり実務は現場が担う。愛知県の副知事を拝命し、県の防災服は行事の時に着用する防災シャツしかないを知る。旧知の消防庁長官を訪ね、長官の防災ジャンパーを参考に製作し県の幹部に配備した。災害時に背広を脱ぎ、サッと羽織るジャンパーが機動的だ。防災シャツに着替えては1分1秒を無駄にする。ボーイスカウトの経験が根底にある。

所属は大阪の泉北第二団だった。指導者の会社の倉庫で手旗信号や縄結びの練習をした。

キャンプで穴を掘って用を足し、下草をナタで刈りグランドシートを敷いたがシュラフまで刺さり痛かった。満点の夜空を眺めた大地との一体感は忘れられない。募金活動では公に尽くす事の大切さを学んだ。電車で席を譲る、白杖の方を見たら肩をお貸しする、道に迷う人がいれば声をかける。若い頃はそう思っても声に出せない事も、ボーイスカウトが恥づかしい事ではないと教えてくれた。この間、私が就いてきた公職の礎となっている。

良き指導者と若人の意志あればボーイスカウトは永遠だ。備えよ常に。地平を切り開かれん事に期待する。

韓国ソウル北部連盟との友好30周年を振り返る



11月2日(土)、友好提携30周年の記念式典・祝賀会が名古屋で開かれ、大村秀章名誉連盟長や日本連盟 村田禎章総コミッショナーのご臨席の中、両連盟から代表者らが集い、さらなる友情の永続を誓いました。30年の友好の歴史をあらためて振り返ります。



交流のはじまり

1970年代から、いくつかの地区・団で野営大会への派遣などが始まっていました。特に盛んだったのが、当時の名古屋緑地区とソウル恩平地区との交流だと言われています。1990年の韓国ジャンボリー等を機に友好への機運が盛り上がり、1994年3月18日に愛知県白壁庁舎で、ソウル北部連盟から李承茂訓育委員長ら8人、愛知連盟から岡谷篤一理事長ら14人が参加し、友好提携が調印されました。同年8月には、愛知スカウトムート94にソウルからローバースカウトが参加しています。



次世代交流～日韓移動ベンチャー大会

2000年10月に早川悦正県連盟コミッショナー、鈴木市男国際委員長、中村友一愛知ローバース会議(ARC)議長、浅井裕己事務局長がソウル北部連盟を公式訪問し、具体的な友好活動を協議。そして、2002年に第1回日韓移動ベンチャー大会を韓国で。2004年には第2回大会を日本で開催。



その後も2年ごとに開催し、2016年の第2回東海4県連盟野営大会(2TC)まで続きました。

第29回愛知スカウトフォーラム

8月23日(金)～25日(日)に新城・吉川野営場で行われたこの事業には、高校生年代(ベンチャースカウト)21名が参加し、活発な意見交換が行われました。参加者の半数近くが全国フォーラムへの代表に立候補するほどに熱量が高く、話し合いを経て、岡崎第13団の市川立也さん、名古屋第30団の中西優稀さんを代表に選出しました。



全国フォーラムを経て、年末の12/28(土)には「アクションプラン向上会」を開催。全国フォーラムからの報告や各地区でのアクションプランへの取り組みを報告し、語り合いました。

「高校生年代×地域社会 ～私たちだからできること」をテーマに活動する愛知のベンチャースカウトに、ご期待ください。

協働から未来へ ～緑化プロジェクト派遣



また、「青年年代の協働を」との提案から「ローバース緑化プロジェクト派遣」が始まりました。第1回派遣は2007年5月。古木啓介ARC議長をはじめ10名が韓国に渡り、ソウル北

部連盟のスカウトと植樹に取り組みました。

ともに汗を流す中で「何ができるのか」を話し合うことは将来につながる様々な「芽」を生み出し、今年で15回目となる活動が続いています。

友好関係の強化と今後へ

両連盟の公式訪問も継続的に行われ、互いの年次総会への列席は当たり前前の光景となりました。この友好関係が基盤となり昨年の世界スカウトジャンボリー(25WSJ)での台風からの大規模避難もスムーズに運びました。また、コロナ禍の2020年、ソウル北部連盟から1万枚のマスクが寄贈されたことも、両連盟は辛苦をともに乗り越えていく「兄弟」である証と言えるでしょう。



愛知・ソウル北部両連盟2万名の加盟員それぞれが、長く続く友情を肌で感じ、この絆を永く続けていきましょう。

あいち防災フェスタ開催

11月10日(日)庄内緑地公園において、あいち防災フェスタが開催され、ボーイスカウト愛知連盟も出展し、愛知ローバース会議のローバースカウトが運営を行いました。



牛乳パックで作るホイッスル、新聞紙で作るスリッパ、防災グッズを使ったキムスゲームを展開するとともに、ボーイスカウトによる「災害支援」をまとめたポスターも掲示しました。

子どもから大人まで幅広い年代の方に来ていただき、「初めて知った」「家でも作ってみたい」などの感想がありました。このように、災害時への「そなえよつねに」を呼びかけることができました。



愛知県補助事業 **あいち森と緑づくり**
環境活動・学習推進事業



8月17日(土)に、刈谷市総合運動公園で開催しました。夏の暑い中でしたが子どもたちは、丸太とロープで制作した渡河木橋を初めて渡ったり、

ネイチャーゲーム、表札・壁飾りの作成そして丸太切りに挑戦していました。楽しむだけでなく森の大切さも学びました。他4ヵ所は表の通りです。

8月12日(月・祝)	幡豆グラウンド(西尾市)
11月 9日(土)	大高緑地(名古屋市緑区)
11月24日(日)	戸田川緑地公園芝生広場(名古屋市港区)
12月 8日(日)	南知多ビーチランド(美浜町)

愛知県 **「どんぐり交流会」**
緑化推進委員会事業 **「子どもたちの未来の森作り特別事業」**

新城・吉川野営場で、今年もふたつの緑化事業が実施されました。11月10日(日)には、「どんぐり交流会」。ボーイスカウト・ガールスカウト・緑の少年団の、総勢130名の小学生らが植樹やしいたけの菌打ちなどを通して、緑化活動の大切さを学びました。

1週間後の17日(日)には「子どもたちの未来の森づくり特別事業」。愛知県緑化推進委員会、新城森林組合の皆様のご支援・ご指導のもと、コナラ・アベマキの植樹、過去に植樹した木の枝打ち体験、薪割り体験を、ベンチャースカウト(高校生年代)、ローバースカウト(大学生年代)が実施しました。「緑化推進の理解を深めることができ、継続していきたい」という声が挙がりました。



私たちは、ボーイスカウト運動を応援しています!

- | | | |
|----------------|---|--------------------|
| 岡谷鋼機株式会社 | 全日本空輸株式会社 | 株式会社 豊田自動織機 |
| 東邦ガス株式会社 | 熱田神宮 | 株式会社 樞屋 |
| 株式会社大丸松坂屋百貨店 | 興和株式会社 | TOYODA GOSEI |
| 株式会社 センゾー | 新東工業株式会社 | 新日本ウエックス株式会社 |
| 名古屋鉄道株式会社 | 株式会社みずほ銀行 | 東京海上日動火災保険株式会社 |
| サラエナジー株式会社 | 福玉精穀倉庫株式会社 | 大森印刷株式会社 |
| 株式会社 渡辺機械製作所 | 株式会社 チタ製作所 | 株式会社イズミック |
| 明治電機工業株式会社 | 株式会社 東郷製作所 | 豊島株式会社 |
| 川本ポンプ | 株式会社 トーエネック | 小林クリエイティブ株式会社 |
| 名古屋トヨペット | 徳倉建設株式会社 | キリックスグループ |
| 武蔵精密工業株式会社 | 株式会社 ニシ | 根木クリニック |
| 名鉄観光バス | CKD株式会社 | 三栄工業株式会社 |
| 新明工業株式会社 | 株式会社 大林組 | MUFG 三菱UFJ銀行 |
| 株式会社 高津製作所 | 名古屋東部陸運株式会社 | 明治安田生命 |
| 株式会社 アステックプラザ | 愛知時計電機株式会社 | ナゴヤショッピング株式会社 |
| 名鉄局印刷株式会社 | 株式会社 クロス技研 | 東海東京証券 |
| 豊電子工業 | 株式会社 伊藤工務店 | 東郷産業株式会社 |
| 伊勢湾海運株式会社 | 株式会社シーヴィテック | 宮崎精鋼株式会社 |
| トーテックアメニティ株式会社 | 株式会社フジキカイ | 一般社団法人 日本電気協会 中部支部 |
| あいおいニッセイ同和損保 | TOKAI RIKI ADVANCED CO.,LTD.
株式会社 東海理化アドバンスト | 株式会社 竹中土木 |
| リコージャパン株式会社 | エックヒシキ株式会社 | |

(敬称略) 特別維持会員の方々です。



<p>愛知連盟 副理事長 氏家 邦政</p>	<p>愛知連盟 副理事長 井上 勲</p>	<p>愛知連盟 副連盟長 船橋 鐸夫</p>	<p>スカウト活動に「ソング」を 愛知連盟 副連盟長 鈴木 市男</p>	<p>愛知連盟 特別顧問・先達 武田 正典</p>	<p>愛知連盟 理事長 永井 淳</p> <p>愛知連盟 顧問 榊原 孝治</p>
<p>愛知連盟 行事・国際委員長 中村 倫之</p>	<p>愛知連盟 常務理事 スカウト進歩委員長 鵜飼 明宏</p>	<p>愛知連盟 常務理事 組織・拡充委員長 澤 朋宏 To the Best, To the 一番上へ! </p>	<p>愛知連盟 常務理事 県コミッションナー 河村 武人</p>	<p>愛知連盟 常務理事 指導者養成委員長 川口 由美</p>	<p>愛知連盟 常務理事 総務委員長 中出 尚彰</p>
<p>愛知連盟 理事 行事・国際委員会 副委員長 小池 さくら</p>	<p>愛知連盟 理事 長谷川 榮一</p>	<p>愛知連盟 理事 兒玉 友</p>	<p>愛知連盟 理事 梅村 清英</p>	<p>愛知連盟 理事 吉野 博樹</p>	<p>愛知連盟 監事 平林 拓也</p>
<p>愛知連盟 事務局長 浅井 裕己</p>	<p>愛知連盟 相談役 小栗 宏次</p>	<p>愛知連盟 相談役 肥田 莊治</p>	<p>愛知連盟 相談役 小林 泰陸</p>	<p>愛知連盟 相談役 浅野 武雄</p>	<p>愛知連盟 監事 竹山 勉</p>

<p>愛知連盟 名誉会議議員</p> <p>榊原 肇</p>	<p>愛知連盟 名誉会議議員</p> <p>山田 貞二</p>	<p>愛知連盟 名誉会議議員</p> <p>土川 保夫</p>	<p>愛知連盟 名誉会議議員</p> <p>瀧 克己</p>	<p>愛知連盟 名誉会議議員</p> <p>山田 哲郎</p>	<p>愛知連盟 名誉会議議員</p> <p>佐々 由高</p>
<p>愛知連盟 指導者養成委員会 副委員長</p> <p>斉藤 稔</p>	<p>愛知連盟 スカウト進歩委員会 副委員長</p> <p>波多野 雅彦</p>	<p>愛知連盟 組織・拡充委員会 副委員長</p> <p>岡田 耕一</p>	<p>愛知連盟 組織・拡充委員会 副委員長</p> <p>勝田 信司</p>	<p>愛知連盟 名誉会議議員</p> <p>秋野 善美</p>	<p>愛知連盟 名誉会議議員</p> <p>岡田 一</p>
<p>愛知連盟 総務委員会 副委員長</p> <p>佐藤 陽介</p>	<p>愛知連盟 総務委員会 副委員長</p> <p>加古 瑞紀</p>	<p>愛知連盟 総務委員会 副委員長</p> <p>大谷 茂</p>	<p>愛知連盟 指導者養成委員会 副委員長</p> <p>飯尾 尚平</p>	<p>愛知連盟 行事・国際委員会 副委員長</p> <p>鈴木 勝</p>	<p>愛知連盟 行事・国際委員会 副委員長</p> <p>日比野 良治</p>
<p>愛知連盟 副コミッションナー</p> <p>安藤 芳朗</p>	<p>愛知連盟 副コミッションナー</p> <p>古木 啓介</p>	<p>愛知連盟 副コミッションナー</p> <p>藤本 大輔</p>	<p>愛知連盟 副コミッションナー</p> <p>柴山 力</p>	<p>愛知連盟 副コミッションナー</p> <p>谷澤 季也</p>	<p>愛知連盟 副コミッションナー</p> <p>藤高 功一郎</p>
<p>愛知連盟 総務委員会 副委員長</p> <p>名桐 悟</p>	<p>愛知連盟 日本チャプター理事 (二財)ボイスカウト愛知県連盟維持財団 評議員</p> <p>根木 浩路</p>	<p>新入会員募集</p> <p>お問い合わせは、 クラブ事務局 息野まで 電話 〇九〇-九九三-五三三七</p> <p>愛知スカウトクラブ</p> <p>相談員 二木 一彦 副会長(広報) 鈴木 信之 副会長(行事) 三井 俊之 副会長(行事) 生田 光俊 広報 兼子 文男 広報 藤井 明生 広報 小関 和生 行事 郷司 治文 健康・安全 伊藤 孝明 健康・安全 小島 朋夫 健康・安全 根木 浩路 総務(事務) 中野 捷勝 総務(事務) 息野 明子 総務(事務) 戸田 一夫 岩田 俊夫 小島 明子 海川 治夫 佐原 康雄 榊原 洋二 平賀 進次 西賀 正数 渡辺 豊数</p>			

